

社 会 資 本 総 合 整 備 計 画

河 辺 ・ 押 入 地 区 都 市 再 生 整 備 計 画 (第3回変更)

平 成 28 年 8 月 10 日

岡 山 県 津 山 市

社会資本総合整備計画（市街地整備）

平成28年 8月 10日

計画の名称		河辺・押入地区都市再生整備計画										重点配分対象の該当													
計画の期間		平成24年度～平成29年度（6年間）					交付団体		津山市																
計画の目標																									
		地区内交通の円滑化や安全対策及び雨水排水対策による都市機能の強化 目標 1：著しい交通量の増加に対する交通の円滑化や事故防止対策、安全な歩行空間の確保を行い、誰もが安全・安心に暮らせる都市環境を整備する。 目標 2：地区内に不足している雨水排水路を整備し、誰もが安全・安心に暮らせる都市環境を整備する。																							
計画の成果目標（定量的指標）																									
		・交通の円滑化や事故防止対策、安全な歩行空間の確保により、地区内の年間人身事故件数の削減及び、主要な歩行経路の満足度の向上を図る。 ・雨水排水対策により、地区内の内水浸水対策が必要な面積の削減を図る。																							
定量的指標の定義及び算定式																									
		アウトカム指標の現況値及び目標値																							
		備考																							
地区内市道での人身事故件数		12件/年																							
主要な歩行経路の歩行空間整備に関する満足度		53.0%																							
地区内の内水浸水対策が必要な面積の削減		38.3%																							
		23.5%																							
全体事業費		合計 (A+B+C+D)		977 百万円		A		(内提案分 144) 977 百万円		B		百万円		C		百万円		D		百万円		効果促進事業費の割合 (A(提案分)+C)/(A+B+C+D)		14.7%	
交付対象事業																									
A1 基幹事業																									
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)		事業内容 (延長・面積等)		市町村名		事業実施期間(年度)						全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考				
1-A1	都市再生	一般	津山市	直接	津山市	河辺・押入地区 都市再生整備事業		道路、雨水路等 84.3ha		津山市		H24	H25	H26	H27	H28	H29	977							
合計																		977							
B 関連社会資本整備事業																									
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名		事業内容 (延長・面積等)		市町村名		事業実施期間(年度)						全体事業費 (百万円)	備考						
												H24	H25	H26	H27	H28	H29								
合計																									
番号	一体的に実施することにより期待される効果																		備考						
C 効果促進事業																									
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名		事業内容		市町村名 港湾・地区名		事業実施期間(年度)						全体事業費 (百万円)	備考						
												H24	H25	H26	H27	H28	H29								
合計																									
番号	一体的に実施することにより期待される効果																		備考						
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																									
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)		事業内容 (面積等)		市町村名		事業実施期間(年度)						全体事業費 (百万円)	備考						
												H24	H25	H26	H27	H28	H29								
番号	一体的に実施することにより期待される効果																		備考						

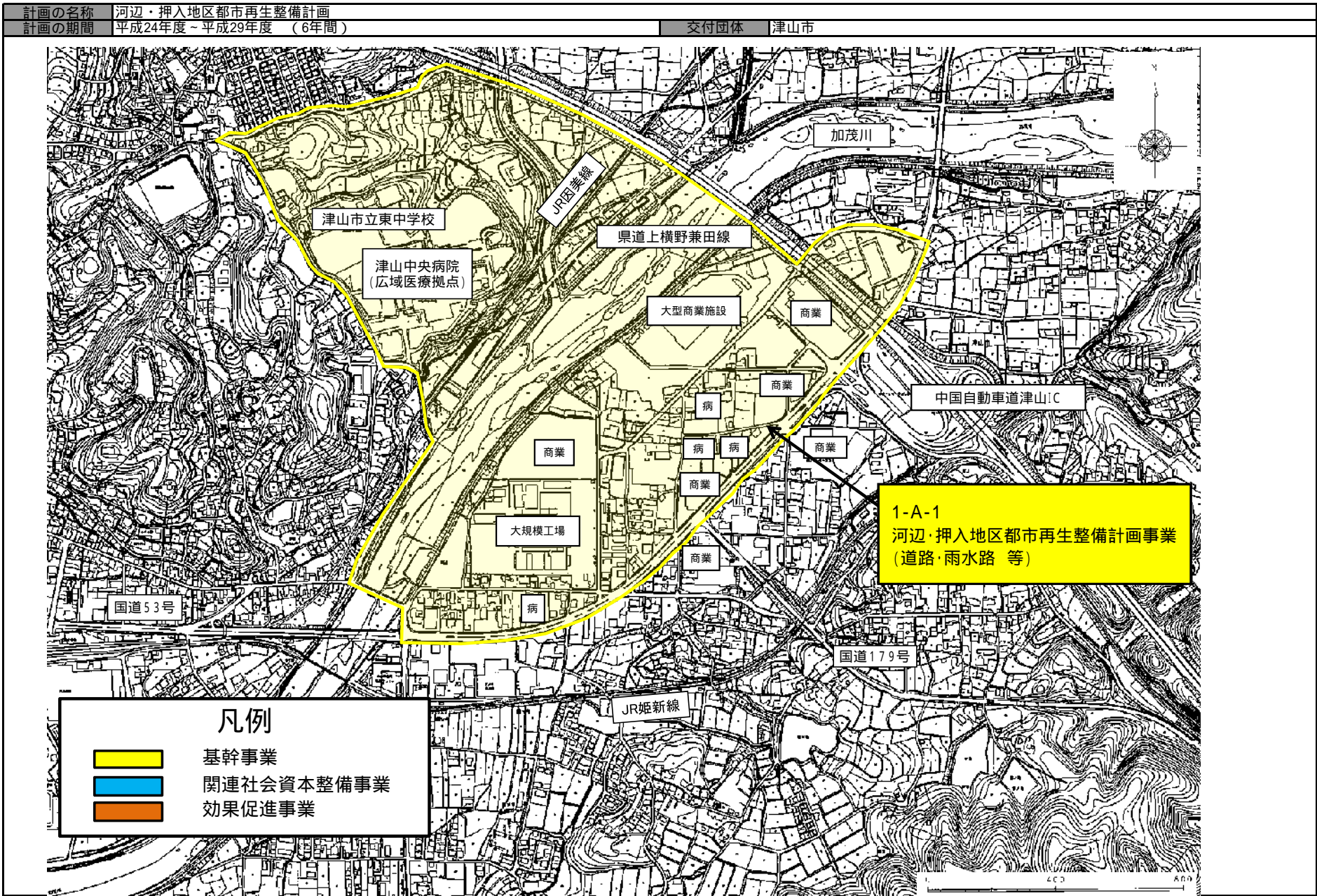
交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H26	H27	H28	H29	H30
配分額 (a)	32.3	57.2	159.6		
計画別流用 増減額 (b)	27.6				
交付額 (c=a+b)	59.9	57.2	159.6		
前年度からの繰越額 (d)	36.8	36.6			
支払済額 (e)	60.0	93.8	72.3		
翌年度繰越額 (f)	36.6		87.3		
うち未契約繰越額 (g)			60.6		
不用額 (h = c+d-e-f)					
未契約繰越 + 不用率 (h = (g+h)/(c+d))			38.0%		
未契約繰越 + 不用率が10%を超えている場合その理由			関連協議に不測の日数を要したため。		

平成26年度以降の各年度の決算額を記載。

社会資本総合整備計画（市街地整備） 参考図面



都市再生整備計画

かわなべ おしいれ ち く だい かいへんこう
河辺・押入地区(第3回変更)

おかやまけん つやまし
岡山県 津山市

平成28年8月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	あかやまけん 岡山県	市町村名	つやまし 津山市	地区名	がわなべ おしいれまち 河辺・押入地区	面積	84.3 ha
計画期間	平成24年度～平成29年度	交付期間	平成24年度～平成29年度				

目標
地区内交通の円滑化や安全対策及び雨水排水対策による都市機能の強化
目標1：著しい交通量の増加に対する交通の円滑化や事故防止対策、安全な歩行空間の確保を行い、誰もが安全・安心に暮らせる都市環境を整備する。
目標2：地区内に不足している雨水排水路を整備し、誰もが安全・安心に暮らせる都市環境を整備する。

目標
平成26年11月 まちづくりの経緯及び現況
・河辺・押入地区は津山市街の東部に位置し以前から田園地帯として発展していたが、昭和49年の中国自動車道津山I.Cの開設を機に急速に市街化が進んだ地区である。 ・交通の利便性の良さから同地区には工業施設や商業施設、医療施設等の立地が進み、平成8年の大型複合商業施設の出店を機に更なる商業施設等の集積が進み同地区への来訪者が飛躍的に増加している。 ・さらに、平成11年には県北の医療を担っていた国立療養所津山病院から経営移譲を受けた津山中央病院が開院し、災害拠点病院あるいは第三次救急救命医療施設として広域医療の重要な役割が期待されている。 ・今後も津山市の東の玄関口として、更なる発展が期待される地区である。
課題
・近年、本地区に医療施設や教育施設並びに工業・商業施設が急速に集積した結果、地区内に流入する交通量が飛躍的に増加し交通渋滞や交通事故の頻発により歩行者等が危険にさらされていることから、地区内の交通の円滑化や事故防止対策、歩行者の安全で安心な歩行空間の確保が緊急の課題となっている。 ・また、本地区では急速に市街化が進んだことによる遊水池の減少により豪雨時には浸水被害も発生していることから、地区内の適切な雨水排水対策も緊急の課題である。 ・そこで、本地区の交通円滑化や安全・安心な歩行空間の確保に資する道路として計画されている(都)河辺高野山西線[岡山県事業]が平成23年度から事業着手されたことに併せ、一体的に機能する広域医療施設等へのアクセス道路の整備や幅員狭小・線形不良等に起因する交通危険箇所の改善、さらには主要な歩行経路の安全確保並びに雨水排水対策を実施することで誰もが安全・安心に暮らせる都市環境の向上を図るものである。 ・なお、広域医療施設等へのアクセス道路については、一体的に機能する(都)河辺高野山西線の供用開始予定が平成30年度であるため、本計画期間中の接続は困難な見通しであるが、接続できない間も県道上横野兼田線から広域医療施設等への歩行経路として有効に機能するため早期の整備が求められている。
将来ビジョン(中長期)
・平成20年3月に策定した津山市都市計画マスタープランでは、まちづくりのテーマを「"歴史と文化を未来へつなぐ緑あふれる環境都"津山」とし、主要目標として「県北の中心都市にふさわしい活力ある都市、自然と共生するまともりある都市、特色ある資源をまちづくりに活かした魅力的な都市、子どもから高齢者、障害者等すべての人にやさしい都市、明日を担う人材の育成」の5つを掲げている。 ・地区別構想の津山市東部のまちづくり方針は、「土地利用の方針」として津山I.C周辺や国道53号沿線に集積している沿道型商業サービス施設や周辺の工業・業務施設を合わせた利便性の高い複合的な土地利用を図ることとしている。また、「安全・安心のまちづくりの方針」として「交通安全対策として事故多発地点や危険箇所における交差点改良や交通安全施設の設置等を関係機関との協力のもとに促進する、県北唯一の救急救命病院であり圏域の医療拠点である津山中央病院へのアクセス道路の強化や公共交通サービスの向上を図ることとしている。

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
交通事故件数	件 / 年	地区内市道での人身事故件数	交通の円滑化や事故防止対策の効果を定量的に把握するための指標。地区内市道での年間事故件数を2割削減することを目標とする。	12	平成23年度	9	平成29年度
歩行空間整備に対する満足度	%	主要な歩行経路の歩行空間整備に対する満足度	安全・安心な歩行空間の整備効果を定量的に把握するための指標。整備前、後に地区内の居住者・就労者等にアンケート調査を実施し「不満」と回答した割合を1割削減し満足度の向上を目標とする。	53.0	平成24年度	47.7	平成29年度
浸水対策面積	ha	地区内の内水浸水対策が必要な面積の削減	当該地区の浸水対策の整備効果を定量的に把握するための指標。地区内の内水浸水対策が必要な面積を約4割削減することを目標とする。	38.3	平成23年度	23.5	平成29年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針		方針に合致する主要な事業
<p>【整備方針1】</p> <p>著しい交通量の増加に対する交通の円滑化や事故防止対策、安全な歩行空間の確保を行い、誰もが安全・安心に暮らせる都市環境を整備する。</p> <ul style="list-style-type: none">・広域医療機関等へのアクセス道路を整備し、県道上横野兼田線から医療機関等への安全・安心な歩行経路並びに歩行空間を確保する。（都市計画道路河辺高野山西線が完成した際には緊急車両等の円滑な通行や歩行者等のより安全な通行経路が一体的に確保される。）・幅員狭小や道路線形が悪いこと等による交通危険箇所の改善。・交差点部の路面標示やカラー舗装による事故防止対策並びに主要な歩行経路の路側にカラー舗装を実施し歩行空間を明示する。		<p>【基幹事業】</p> <p>（道路）</p> <ul style="list-style-type: none">・市道拠点線 整備事業・市道T19号線、市道T32号線 整備事業 <p>（高質空間形成施設）</p> <ul style="list-style-type: none">・市道T37号線外4路線 路面標示、カラー舗装など
<p>【整備方針2】</p> <p>地区内に不足している雨水排水対策を実施し誰もが安全・安心に暮らせる都市環境を整備する。</p> <ul style="list-style-type: none">・急速な開発により不足している地区内の雨水排水機能の確保。		<p>【基幹事業】</p> <p>（地域生活基盤施設）</p> <ul style="list-style-type: none">・排水ゲート（ポンプゲート） 整備事業 <p>【提案事業】</p> <p>（地域創造支援事業）</p> <ul style="list-style-type: none">・河辺第二雨水幹線 整備事業
<p>その他</p> <p>交付期間中の計画管理について</p> <p>交付期間中における事業実施及び調整については、岡山県並びに市内部の関係部局による横断的な組織において計画管理を行う。 なお、事業実施状況や数値目標の達成状況については、広報誌や市のホームページ等を利用し随時市民に公表する。</p> <p>円滑な事業実施の環境</p> <p>基幹事業である市道拠点線の整備については、以前から津山中央病院や地元町内会等より早期整備に対する要望を受けており地元関係者等の事業熱度が高い。また、平成23年度から岡山県が事業着手した都市計画道路河辺高野山西線と一体的に機能する道路であるから、同時期に当該事業に着手することで円滑な事業の推進が図られる。</p>		

様式3 目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項

交付対象事業費	977	交付限度額	390.8	国費率	0.4
---------	-----	-------	-------	-----	-----

(金額の単位は百万円)

事業	事業箇所	事業箇所名	事業主体	直 / 間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費	費用便益比 B / C
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度						
道路	道路新設	市道拠点線	津山市	直	L=380m	H24	H29	H24	H29	550	550	550		550	-
道路	道路改築	市道T19号線	津山市	直	L=230m	H24	H29	H24	H29	74	74	74		74	-
道路	道路改築	市道T32号線	津山市	直	L=130m	H25	H29	H25	H29	70	70	70		70	-
道路															
公園															
古都保存・緑地保全等事業															
河川															
下水道															
駐車場有効利用システム															
地域生活基盤施設	(地域防災施設)	排水ゲート(ポンプゲート)	津山市	直	-	H24	H28	H24	H28	125	125	125		125	-
高質空間形成施設	(緑化施設等)	市道T37号線外4路線	津山市	直	-	H24	H29	H24	H29	14	14	14		14	-
高次都市施設															
中心拠点誘導施設															
連携生活拠点誘導施設															
生活拠点誘導施設															
高齢者交流拠点誘導施設															
既存建造物活用事業(高次都市施設)															
土地区画整理事業															
市街地再開発事業															
住宅街区整備事業															
バリアフリー環境整備事業															
優良建築物等整備事業															
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型														
	沿道等整備型														
	密集住宅市街地整備型														
	耐震改修促進型														
街なみ環境整備事業															
住宅地区改良事業等															
都心共同住宅供給事業															
公営住宅等整備															
都市再生住宅等整備															
防災街区整備事業															
合計										833	833	833	0	833	-

...A

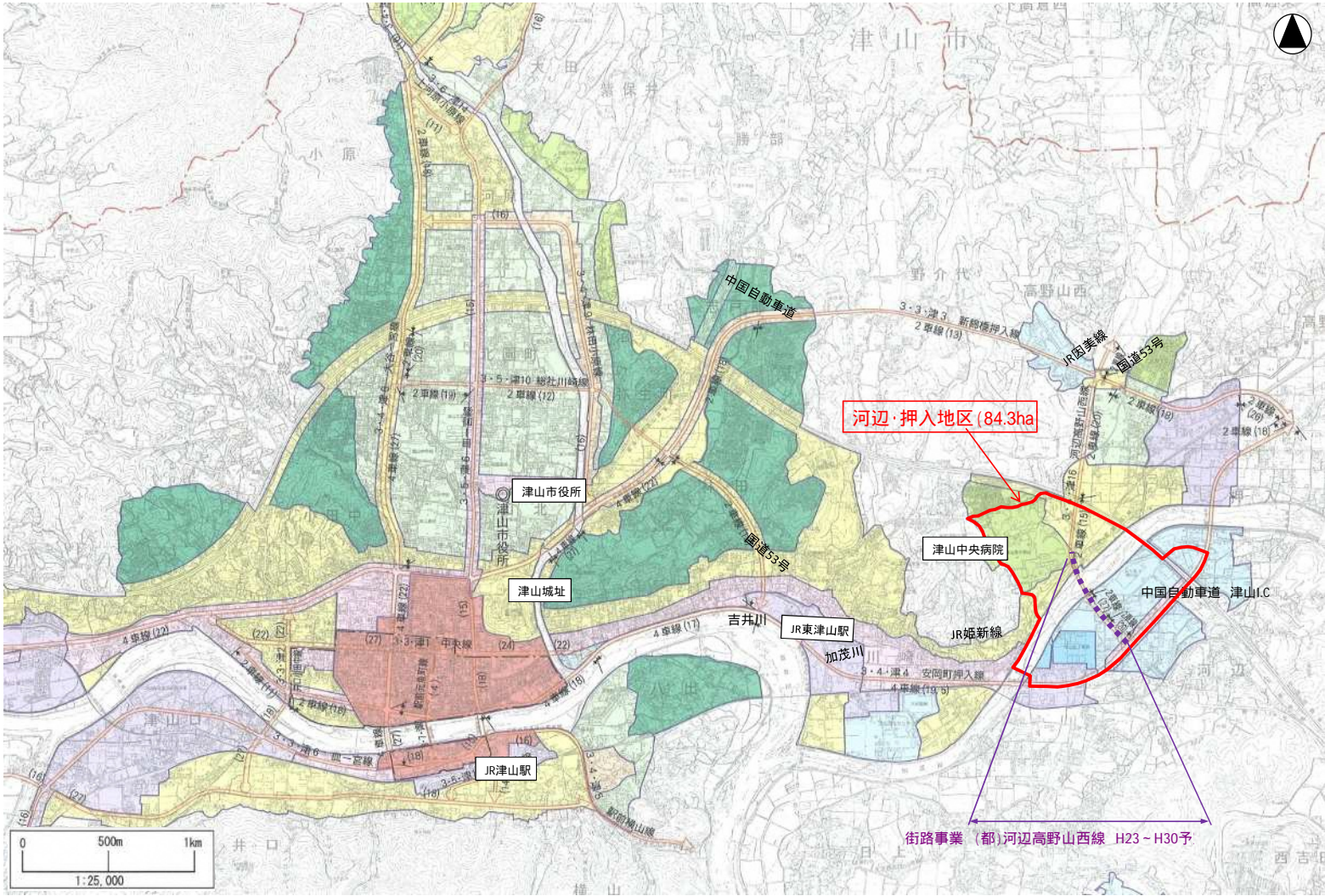
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直 / 間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	交付期間内		交付対象 事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分	
地域創造 支援事業	雨水排水路	河辺第二雨水幹線	津山市	直	L=320m	H24	H29	H24	H29	141	141	141		141
事業活用調 査	事業効果分析	-	津山市	直	-	H29	H29	H29	H29	3	3	3		3
まちづくり活 動推進事業														
合計										144	144	144	0	144...B
													合計(A+B)	977

...B

[illegible]

都市再生整備計画の区域

河辺・押入地区(岡山県津山市)	面積	84.3 ha	区域	津山市 河辺、押入、川崎
-----------------	----	---------	----	--------------



社会資本整備総合交付金チェックシート

(都市再生整備計画事業等タイプ)

計画の名称: 河辺・押入地区 都市再生整備計画

都道府県名: 岡山県津山市

チェック欄

. 目標の妥当性	
都市再生基本方針との適合等	
1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	
2) 上位計画等との整合性が確保されている。	
地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の整合性)	
1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	
2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い。	
. 計画の効果・効率性	
目標と事業内容の整合性	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	
3) 目標及び事業内容と計画区域の整合性が確保されている。	
4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	
5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	
事業の効果	
1) 十分な事業効果が確認されている。	
2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	
. 計画の実現可能性	
地元の熱意	
1) まちづくりに向けた機運がある。	
2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	
3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	
円滑な事業執行の環境	
1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	
2) 交付期間中の計画管理(モニタリング)を実施する予定である。	
3) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	